

この先を考えてみよう

センター試験まであと約1か月。焦りを感じているとは思いますが、もうひと踏ん張りです。健康管理には十分注意してください。

さて2020年度(令和2年度)大学入試センター試験の確定志願者数が発表された。大学入学共通テスト移行前の最後のセンター試験となりますが、志願者数は557,698人で、前年より19,132人減少しています(前年比96.7%)。このうち高等学校等卒業見込者(現役生)の志願者数は464,950人で、前年度より12,716人の減少となっています。高校生の減少ということもありますが、来年度より大学入学共通テスト(新入試)へ移行するということから安全志向で早期に進路決定していく生徒が増えたこともその一因です。

また、私立大学の入学定員管理の厳格化により、安全志向と併せて今年度は偏差値上位層の生徒が合格を確保するため、推薦に流れたり、実力より下の偏差値帯の学校を志望している傾向が強くなっていきます。そのため、一般入試が難化しており、2月入試では合格できない生徒が多く出てくるだろうと予想されています。3月上旬の国公立大学の合格発表後、私立大学の入学を辞退する生徒が出てくることで、3月入試まで粘れば志望校への合格も可能性が出てきます。最後まで諦めず頑張りましょう。

2・1年生の皆さんは、英語の民間試験の導入が見送られ、12/17(火)に国語と数学の記述式問題についても延期の発表がありました。対策してきたことと大きく異なってくることで、戸惑っている人も多いのではないのでしょうか。しかし、英語力や記述力が不要となったから無くなるわけではありませぬ。現在の中学1年生からはそういった力がテストで測られるようになります。10年後、20年後そういった力を持った人たちと社会の中で競い合っていかなければならない現状を認識しておいて欲しいと思います。そこで、高校生活の中で英検などの検定試験へのチャレンジ、グループワークの討論での表現力やプレゼンテーション力など、進学後や就職後にも必要とされる力を授業をはじめゼミ学習や校外学習、ボランティア活動などの取組の中で、しっかり養って欲しいと思います。(文責:堀)

『3年の窓』受験の長期化

いよいよ出願校を決めていく時期になってきました。その中で、「いくつ出願すればいいですか?」という質問を受けることもあります。適切な答えを伝えることは難しいです。今は同じ大学を複数の方式で受験すると安くなる仕組みも多いのですが、私立大学1校を出願するとおおよそ35,000円です。不安に駆られてとりあえず色んな日程を…と思うと気付いたら大金を払ってしまっていることに陥りがちです。それで志望校に受かることができればいいのですが、結果が出なくてなかなか不安になることもあると思います。

今年入試は特に「長期戦」になると言われます。一昔前だったら、2月前半から中盤で私立大学の入試、2月の25日に国公立の前期、3月の中旬からが中・後期入試というようにはっきり時期が分かれていました。私立はほぼ2月で勝負が決まる時期でした。しかし今は2月入試でもなかなか合格しなくなってきました。これは昨今の「入学定員管理の厳格化」によるもので、以前は「蹴られる」ことを想定して多めに合格者を出していた大学が合格を簡単にせざるようになってしまっ、結果的に上位国公立を目指す層ばかりが合格するようになっているのです。このような受験生は結局第一志望に合格してしまえば入学をしません。そうになると、定員が確保できなくなってしまうので、3月入試を行って、新たに入学者を募るといった仕組みです。

来年から始まる大学入試共通テストの記述式導入が見送りになりそうではあるものの、受験に変化が生じる年は「安全志向」に走る受験生が多く、希望するよりも2・3ランク下の大学に出願することも増えていきます。安全策を取った生徒が上位に固まるとなれば2月入試は厳しくなります。「早く受かって楽になりたい」と思ってもそう簡単にいかないのです。

全国の受験生、程度の差はあれどみんな苦しんでいるのです。その中で、ライバルが「早く楽になりたいから」と思って離脱していく、でもそうなれば自分のチャンスが広がります。思わぬレベルの大学に合格するチャンスがあるかもしれません。私立の3月入試や、国公立の中期・後期まで粘る覚悟を持ってみましょう。1番で合格する必要はありません。合格最低点でもブービーでも受かったもの勝ちです。

こんな苦しみがあるのは今だけです。苦しんだことが考え方や価値観を広げてくれることもあるのです。(文責:安藤)

『2年の窓』

後期中間考査も終わり、進研模試も返ってきました。ここから君たちは高校2年生の3学期であると同時に、高校3年生の0学期と呼ばれる時期に入ります。この時期に「来年は遊べないから、今のうちにあそぼ〜!」と思ってる人、要注意です!高3の0学期の時期には来年度の1学期にいいスタートを切るために準備を始めることが大切です。スポーツでもいきなり全力疾走ができないのと一緒ですね!まずは、この4か月でできることを始めていきましょう!

でも、なにをしていいかわからない人が多いかと思います。インターネットにこんなランキングが載っていました。『現役合格者が高3の0学期にまずやったことランキング』です。ぜひ参考にしてみてください。

第1位「単語などを暗記しておく」

受験勉強が本格化すると意外に時間がかけられなくなります。重点的に勉強できるのは今のうち!

第2位「基礎の復習をする」

1~2年生の内容は1~2年生のうちに片づけておくこと!3年生になったら、3年生の内容の勉強でなかなか手が付けられない!

第3位「大学情報の収集」

いくつか選択肢を考えておくこと!高3になってからではなかなか変えにくし、情報不足になりがち!時間のある今のうちに悩むこと!

第4位「やるべきことをリスト化する」

やるべき学習をリストに書き出して、勉強をする習慣をつけた。リストにすることで無駄な時間を省くこともできる!

第5位「勉強時間と場所の確保」

勉強の習慣と自分が勉強しやすい環境を探すこと!図書館?朝型?いろいろ試して自分に合った勉強法を探しましょう!
(Benesse ホームページより)

ちなみに僕はこの時期に大学の情報をたくさん調べて、自分の進路と志望校を明確にし、高3に入ってから志望校一直線で勉強をしました。みんなは、この4か月をどう過ごしますか?

(文責:後藤佑)

『1年の窓』

まもなく今年も終わりですね。年が明けたら、もうすぐ2年生です。卒業後の進路について少しずつ考えていかなければなりませんね。多治見高校は進学校なので、先生達はどうしても大学進学についてあれこれ言ってしまうのですが、本当に大切なことは「その先」だというお話をしたいと思います。

みなさんは「将来の夢は何ですか?」と聞かれて何と答えますか?本来進学とは、その夢を叶えるため「手段」だと思います。ところが、進学校に通っていると進学することが「目的」になり、将来何がしたいのか考えなくなりがちです。「大学行ってから考えよう」では、高い学費を支払った挙げ句、将来自分のやりたかったことと何の関係もなかったなんていうことも起こりうるかもしれません。

そうならないためにも、みなさんには「夢」を持ってもらいたいと思います。そんなこと急に言われても困ると思う人は、今「好きなこと」は何か、将来「やってみたい職業」とは何か、考えてみることから始めてみましょう。そして将来、就きたい職業が決まったら次はその職業についての視野を「広げ」ましょう。「野球関係」であれば、球団運営の仕事、スタジアムの設計、ユニフォームのデザイン、芝の管理、スポーツ店など、野球に関わる仕事に就くことが可能になります。さらに、その仕事に就くための「道筋」や「方法」を考えることで「夢」の実現に近づいていくと思います。

「夢」を持つことは自己実現の第一歩!!「夢」は持ち続けましょう。

(文責・赤石)

今年度の国公立大学における「センター試験を課さない推薦入試」の結果が出そろいました。

合格状況は下の通りです。

- ・名古屋市立大学 人文社会学部 現代社会学科
- ・岡山大学 工学部 化学生命系学科
- ・信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科
- ・公立鳥取環境大学 環境学部 環境学科
- ・公立諏訪東京理科大学 工学部 情報応用工学科